

議案審議



■市長から提出された議案は、前ページまでに掲載した決算7件と条例に関する議案2件、補正予算に関する議案6件、その他の議案6件の、合わせて21件で、すべてを認定・可決・同意しました。

■上程された陳情3件は継続審査となりました。主な議案の概要は次のとおりです。

※内容は要約しています。詳細はインターネット録画中継（9月9日・30日分）または会議録をご覧ください。
 インターネットで会議録をご覧になる場合は「羽村市議会」↓「会議録の検索と閲覧」 ↓「平成28年 第3回定例会」

市長提出議案

■今年度予算に9億20万円追加

平成28年度一般会計補正予算
 （第3号）

今回の補正は、9億20万円を追加し、予算の総額を228億5930万円とするものです。

補正の主な内容

- 歳入（新たに収入となるもの）
- ①都支出金：「学校と家庭の連携推進事業」の指定を羽村二中が受けたことによる委託金
- ②財産収入：※国債を売却し、売却差益収入を得たことによる利子及び配当金
- ③平成27年度決算の確定に伴う繰越金、特別会計における決算剰余金の一般会計への繰入れ
- 歳出（新たに支出することになるもの）
- ①防災特別番組制作のための番組取材特別旅費等
- ②コミュニティセンターの防火設備定期検査委託料（いこいの里、児童館、小中学校等も同様）
- ③神明苑老朽化による解体工事費等
- ④B型肝炎ワクチンの定期接種経費

- ⑤「にぎわい音楽祭」におけるイルミネーション設置委託料等
- ⑥その他、硬質プラスチック運搬手数料、事故等賠償金など

【議決結果】原案可決



Q 今回の国債の売却理由は、また運用の最終的な決定機関はどこか。

A 低金利等の影響を受けて国債価格が上昇したため、約4000万円の売却益が見込まれることから、売却することが最も有利であると判断した。運用にあたっては、基金を指定金融機関以外で運用する場合には、会計管理者が市長と協議して決定する。

Q 防災特別番組はどのようなものを考えているのか。

A 宮城県岩沼市へ職員を被災地支援として派遣する中で、岩沼市の復興への取組みの様子などを

を羽村市の防災・減災に生かしたいと急ぎよ決まった。事前取材1回と本取材2回、現地へ行く予定。

Q 硬質プラスチックのリサイクルで運搬経費が増えた理由は、

A リサイクル業者に引き渡す際の取引価格が、非常に低迷しており、運搬費が新たに発生することになった。

議員の意見

■反対 ■医療、福祉、教育など充実すべき行政課題が山積する中、羽村駅西口のまちづくりは抜本的に見直し、税金は市民全体の福祉向上に振り向けることを提案する。
 （日本共産党）

■賛成 ■西口整備基金積立金は、事業の推進に必要かつ重要。商工振興費の補正150万円もイルミネーションやにぎわい音楽祭など羽村市の産業活性化に大いに貢献する施策である。
 （新しい風）

■賛成 ■適切なタイミングでの国債売却等による財源確保や公共施設の防火設備定期検査費への支出など、いずれも市民にとって必要かつ適切な補正予算である。
 （公明党）

■反対 ■にぎわい音楽祭は羽村駅前の商店街が主催であり防音壁費用の50万円は商店街が負担すべき。1億5000万円の西口整備基金積立ては不要。※財政調整基金に積むべき。
 （世論）

■賛成 ■羽村駅西口をだれもが安心して利用できるようにするためにはまだ多くの整備が必要。にぎわい音楽祭は問題をクリアにして近隣住民の理解を得、羽村駅前の新たなにぎわいの創出につなげてほしい。
 （新政会）

■固定資産評価審査委員会委員・教育委員会委員の選出、人権擁護委員候補者の推薦に同意

固定資産評価審査委員会委員の選任について

固定資産評価審査委員会委員の任期満了に伴い、次の方を委員に選任したいので、議会の同意を求めます。

- 【氏名】 岡田 丈尋氏
- 【任期】 平成28年10月15日
 ～平成31年10月14日
- 【議決結果】 原案同意

人権擁護委員候補者の推薦について

人権擁護委員の任期満了に伴い、次の方を委員の候補者として推薦したいので、議会の意見を求めるものです。

- 【氏名】 塩田 真紀子氏
- 下田 壮氏
- 羽村 富男氏
- 【任期】 平成29年1月1日
 ～平成31年12月31日
- 【議決結果】 原案同意

教育委員会委員の任命について

教育委員会委員の任期満了に伴い、次の方を委員に任命したいので、議会の同意を求めます。

- 【氏名】 江本 裕子氏
- 塩田 真紀子氏
- 【任期】 平成28年10月1日
 ～平成32年9月30日
- 【議決結果】 原案同意



大勢の人が盛り上がった昨年のにぎわい音楽祭の様子

議会活動アルバム

静岡県島田市、群馬県高崎市が 広報委員会を視察



島田市の議会だより編集
に関する特別委員会と
高崎市の広報委員会と

8月2日(島田市)と17日(高崎市)に、議会報編集
について視察がありました。どこの議会でも、いかに
読みやすい議会報を作るか、苦心・工夫していま
す。お互いの現状や課題などざっくばらんに話が
できて、大変参考になりました。

総務委員会がインタビュー



8月20日、総務委員会がゆとろぎで
市民インタビューを行いました。受
けてくださったのは「富士見小避難
所運営組織」の皆さん。非常に有意義
な対談でした。
※詳しくはP2~3をご覧ください。

防災訓練で、議員も参集訓練



9月4日、羽村市総合防災訓練で、
議員も参集訓練を行いました。また、
市内の訓練に参加し、その感想など
も話し合いました。

一般会計等予算審査特別委員会を開催しました



9月13日、今年度の補正予
算を審査する特別委員会
を開催しました。
活発な質疑応答がされ、6
つの補正予算すべてが可
決されました。

農業委員会と経済委員会との 懇談会が開かれました



10月14日、羽村市農業委員会委員
と経済委員会委員が、羽村市の農
業の現状と課題について、懇談会
を開きました。

モノレール特別委員会、八王子へ



10月14日、多摩都市モノレール建設
促進特別委員会が、八王子市の取組
みについてお話を伺いに行きました。

議決結果一覧

▼議決結果一覧

平成27年度決算 ※P4~P8参照		会派名(数字は人数)								議決結果	
		新 (4)	公 (4)	民 (2)	風 (2)	共 (2)	ネ (1)	21 (1)	リ (1)		世 (1)
一般会計歳入歳出決算		○	○	○	○	×	×	○	○	×	認 定
特 別 会 計	国民健康保険事業会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認 定
	後期高齢者医療会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認 定
	介護保険事業会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認 定
	福生都市計画事業羽村駅西口土地区画整理事業会計歳入 歳出決算	○	○	○	○	×	×	○	○	×	認 定
	下水道事業会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認 定
水道事業会計決算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	認 定

市長提出議案		会派名(数字は人数)								議決結果	
		新 (4)	公 (4)	民 (2)	風 (2)	共 (2)	ネ (1)	21 (1)	リ (1)		世 (1)
羽村市特別工業地区建築条例の一部を改正する条例 ※風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律の一部を改正する 法律の施行に伴い、条例の一部を改正する。		○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
羽村市老人福祉館条例を廃止する条例 ※羽村市老人福祉館を廃止する必要があるため、条例を廃止する。		○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
平成28年度羽村市一般会計補正予算(第3号) P10参照		○	○	○	○	×	○	○	○	×	原案可決
平成28年度羽村市国民健康保険事業会計補正予算(第2号) ※298,440,000円増額し、補正後の予算額を7,561,537,000円とする。		○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
平成28年度羽村市後期高齢者医療会計補正予算(第1号) ※24,004,000円増額し、補正後の予算額を1,043,604,000円とする。		○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
平成28年度羽村市介護保険事業会計補正予算(第2号) ※92,060,000円増額し、補正後の予算額を3,321,385,000円とする。		○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
平成28年度羽村市福生都市計画事業羽村駅西口土地区画整理事業 会計補正予算(第2号) ※32,629,000円増額し、補正後の予算額を1,437,225,000円とする。		○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
平成28年度羽村市下水道事業会計補正予算(第2号) ※予算総額に変更はないが、繰越金の増と市債の減。		○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
平成27年度羽村市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について ※未処分利益剰余金359,842,271円のうち200,295,730円を減積積立金に 積み立て、159,546,541円を資本金に組み入れる。		○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
固定資産評価審査委員会委員の選任について P11参照		○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案同意
教育委員会委員の任命について P11参照		○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案同意
教育委員会委員の任命について P11参照		○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案同意
人権擁護委員候補者の推薦について P11参照		○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案同意
損害賠償額の決定について ※緑ヶ丘の市道の舗装剥離場所で起きた 原動機付自転車の事故について、損害賠償33,000円を支払い和解する。		○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

▼陳情の審査結果は次の表のとおりです。

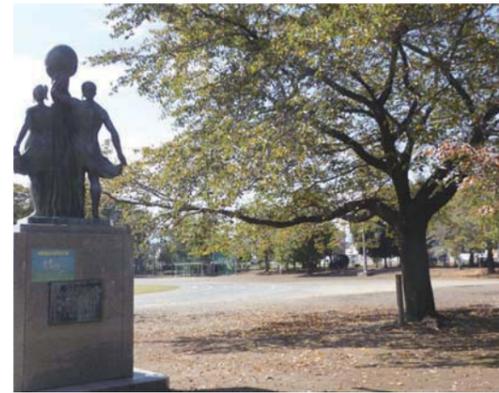
陳 情	審査した委員会	委員会での審査結果
羽村市における、バランスのとれた受動喫煙防止対策を求める陳情	厚生	継続審査
東京都羽村市における、バランスのとれた受動喫煙防止対策を求める陳情	厚生	継続審査
羽村市における受動喫煙防止に関する陳情	厚生	継続審査

凡 例

■各会派の賛否 ■ 議案 / ○…賛成・認定 ×…反対
 陳情 / ○…採択 ×…不採択 □…趣旨採択 △…継続審査
 ■会 派 名 ■ 新…新国会 / 公…公明党 / 民…民進党 / 風…新しい風 / 共…日本共産党
 ネ…市民ネットワーク「いきいき広場」 / 21…羽村 21 / リ…リフレッシュ羽村 / 世…世論

般質問

一般質問とは、市が実施している施策全般についての議員の質問です。第3回定例会では、17人の議員が、9月6日、7日、8日の3日間にわたり一般質問を行いました。その要旨をお伝えします。



《Q》ふるさと納税への取組みは 《A》羽村市を応援してもらえよう活用に取り組む

中嶋 勝 議員（公明党）



質問 新たな財源の確保を
質問 使用目的別寄付やクラウドファンディングの考えは。
市長 特定の事業への資金調達にクラウドファンディングは活用が想定されており、先進事例を参考に研究していく。
質問 公共施設へのネーミングライツの活用は。
市長 広告収入と合わせ、財源確保の手法の一つとして研究している。
質問 市のふるさと納税への考えと取組みは。
市長 多くの方々に羽村市を応援してもらえよう、市の魅力を広く発信することに重点を置き、ふるさと納税制度の活用に取り組んでいく。



総務省が発行しているふるさと納税のパンフレット

質問 市有財産の処分や有償での貸与等、有効的な活用で新たな財源の確保を。
市長 未活用地などの売却や有償貸与を、今後個別の事案ごとに検討していく。
安心できる
地域包括ケアシステムへ
質問 地域住民が、近くで安心して相談できる体制の検討を。
市長 身近な所に相談窓口を設置している事例もあり、今後調査研究していく。
質問 これからさらに高齢化が進む中で、多くの高齢者が気軽に取り組める介護予防施策が必要では。
市長 「まいまい健康教室」の拡大とともに、各地域において、介護予防教室が自主的に立ち上がるような取組みも検討する。

■その他の質問
「さらなる平和思想の普及を」
*クラウドファンディング：事業などを実施するにあたり、賛同する不特定多数の人からインターネットを通じて資金や協力を募る方法
*ネーミングライツ：施設、キャラクターなどに命名できる権利

《Q》「成年後見制度の利用の促進に関する法律」が施行！市の対応は 《A》同法に定める市の責務を果たしていく

大塚 あかね 議員（民進党）



安心して暮らすことができるために
成年後見制度の活用を！
(高齢者編)

介護保険の第1号被保険者の13.9%が要支援、要介護認定を受けている。介護保険と車の両輪と言われる成年後見制度。法も施行。今後の市の取組みを伺う。
質問 地域包括支援センターでの周知、取組みは。
市長 本人の判断能力や生活状況を踏まえ、必要に応じて申し立て支援や関係機関との調整に努めている。
質問 介護保険の地域支援事業の任意事業に成年後見制度利用支援事業を取り入れていくべきではないか。
市長 現在、市長申立てを行った場合に申立費用の負担が困難な方や障がい者を対象として行っているが、高齢者についても検討していく。
質問 本年5月に「成年後見制度の利用の促進に関する法律」が施行された。市のこの法に対する取組みは。



大学生と多摩地区の選挙管理委員会事務局職員との意見発表・交流会（27年11月）

市長 来年度、成年後見制度推進機関を設置する等、責務を果たしていく。

若者の政治参加促進を
質問 この夏行われた参議院議員選挙、都知事選挙の18歳、19歳の投票率は。
選挙事務局長 参議院議員選挙は18歳が61.72%、19歳が53.27%。都知事選挙は18歳が45.53%、19歳が36.31%。
質問 若者の政治参加をどのように促していくか。
選挙事務局長 早い時期から主権者であるという自覚を持てるよう教育委員会等と連携し啓発事業を進めていく。

《Q》高齢者の生きがいと社会参加の促進を図れ 《A》シルバー人材センターの多様な運営を支援

小宮 國暉 議員（新しい風）



高齢者のための
地域社会をめざして

2025年には、65歳以上の高齢者が全国で約3600万人、人口の約30%に達する。政府は、「ニッポン1億総活躍プラン」を掲げ、生涯現役社会の実現をめざし、高齢者の生きがいと社会参加の促進を図り、地域社会の活性化を図ろうとしている。高齢者が生きがいを持って、安心して住み慣れた地域で生活していくためには、シルバー人材センターの役割が一層重要になると考え伺う。

質問 シルバー人材センターでは、社会ニーズに即応し、きめ細かく業務を拡大している。最近取り入れた派遣業務について、市はどのように捉えているか。
また、市民への周知を支援すべきと思うがどうか。
市長 平成29年4月から派遣事業を開始予定。派遣事業では、発注者からの指示命令を受ける業務等を受注



9月に行われた第25回シルバーはむらふれあいまつりでの手芸品販売の様子

することが可能となるため、従来以上に会員の知識・経験を活かすことができ、就業の幅が広がることが期待できる。市民の皆様への周知については、広報はむらや市公式ウェブサイトを活用し、支援していく。
質問 シルバー人材センターの求人の一層の確保等、雇用の促進をすべきでは。
市長 シルバー人材センターへの公的業務の発注拡大を検討し、身近な地域での高齢者の就労を支援していく。

■その他の質問
「羽村市シティブロモーションの実効性を高める着実な取組みを」「子ども達の学力向上」

《Q》「**軽便鉄道**」の歴史的役割を川崎西公園に残しては
《A》鉄道敷きの再生、案内板の設置等、総合的に検討する

西川 美佐保 議員（公明党）



軽便鉄道跡地に伸びる神明緑道

多摩川と「幻の軽便鉄道」の歴史
大正から昭和にかけて東京市の給水確保のため多摩川から村山貯水池（多摩湖）と山口貯水池（狭山湖）建設のため敷かれた「軽便鉄道」が大活躍した。
質問 多摩川の水の歴史の一つである軽便鉄道の教育的価値とは。
教育長 先人の努力の足跡の一つであり、地域の歴史、郷土羽村を学ぶ上で、有効な素材である。
質問 羽村市内でも神明緑道など一部残っているが、要所に案内板等を整備し、武蔵村山市までの行き来できるコースを考えては。ま

た、川崎西公園は導水管が通り、軽便鉄道の出发点と思われるが、一部を再生し、歴史的役割を残しては。
市長 「案内板の設置」や「鉄道敷きの再生」等は、総合的に判断し、検討していく。
質問 軽便鉄道を多摩川の歴史の一つとして、教育や観光に生かしては。
市長 今後、観光案内所等の施設整備の中で、映像・写真・模型等の展示や情報発信について、有効的な活用を検討に努める。また、学校教育では、羽村学などで活用の検討に努める。
羽村市自然休暇村の契約継続について
質問 来年3月で満了する借地契約は継続するとして、何か年の契約か。
市長 山梨県と事前に協議し、現在の契約と同様に、契約期間は30年とする考えでいる。

《Q》「はむらん」の運賃以外での収益向上方法は
《A》バス停に企業名をつけるネーミングライツを研究中

高田 和登 議員（新しい風）



コミュニティバスはむらん

コミュニティバス
「はむらん」について
質問 運行経費、運賃収入、運行補助金を問う。
市長 平成27年度は、運行経費が約7100万円、収入総額が約1700万円、運行事業補助金は約5400万円である。
質問 市民からは増便の要請があるが、市の見解は。
市長 様々な課題があり、現行の運行システムの中で工夫し対応していく。
質問 市民から「乗継」が不便との声があるが、市の見解を問う。
市長 限られた運行台数の中で、個々の意見や要望をなるべく反映できるように、改善を検討していく。

質問 運賃収入の増加以外に、収益をあげる別の方法を検討してはどうかか。
市長 車内の広告収入のほか、バス停に企業や商店などの名称をつけるネーミングライツについて調査・研究を進めている。
羽村市の水道水と「水はむら」について
質問 羽村市と東京都の下水道料金も含めた水道料金の比較を問う。
市長 家庭用の口径20ミリの水道メータで40立方メートル使用した場合、2か月で羽村市が7239円、東京23区が9589円。
質問 2リットル容器の「水はむら」を検討しては。
市長 2リットル容器については、消費税込みで1本あたり1700円の費用を要するため、市販のものとの競合できず、製造についての検討に至っていない。
■その他の質問
「羽村市の公式キャラクター『はむりん』について」

《Q》権利擁護のさらなる充実に向けた取組みが必要では
《A》必要に応じて近隣との広域連携も検討していく

富永 訓正 議員（公明党）



福祉センター1階の羽村市社会福祉協議会窓口

市での権利擁護について
住み慣れた地域で、誰もが安心して、自分らしく暮らし続けることができる仕組み作りや支援活動への取り組みを。
質問 地域福祉権利擁護事業とは。その理念と目指すものは何か。
市長 認知症、知的・精神障がい等のうち、判断能力が不十分な方が地域において自立した生活が送れるよう、契約に基づき福祉サービスの利用援助等を行うもの。人権を始め様々な権利を保護し、本人に代わりその財産を適切に管理するものが「権利擁護」であり、個人が人間としての尊厳を

もって生きていけるよう、生活上の重要な場面でサポートすることと認識している。
質問 今後、権利擁護を必要とする市民ニーズにどのように応えていくのか。
市長 要支援者やその家族が安心した生活を送れるよう地域、関係機関のネットワークの充実と、社会福祉協議会、市の各相談窓口との一層の連携で応えていく。
質問 都内で、羽村市だけが成年後見制度推進機関が設置されてこなかったが。
市長 これまで必要に応じて制度の利用支援で対応してきたが、身近な場所であり専門的な利用支援が必要となってきたことから、平成29年度から成年後見制度推進機関の運営を羽村市社会福祉協議会に委託し、実施していく。
■その他の質問
「羽村市の観光振興施策について」

《Q》統合型GISはどのような利用が可能なのか
《A》場所や位置の関係情報を取り扱う業務に活用

橋本 弘山 議員（新政会）



地理情報システム（GIS）の運用について
質問 統合型GISにより、どのような利用が具体的に可能になってくるのか。
市長 固定資産情報、公共財産情報、ハザードマップ、道路の埋設管や工事箇所、消火栓や防火水槽の設置箇所、避難行動要支援者の居住地情報などに活用が可能。
質問 統合型GISの他自治体の導入状況は。
市長 多摩26市中、8市が導入、羽村市は未導入。
質問 庁内で検討委員会を立ち上げて調査研究してはどうか。また導入の方向性は。
市長 平成28年度中に検討委員会を立ち上げ、導入範囲、システム内容などを研究し、導入コスト、効果を比較した上で導入の方向性を決定していく。
国旗・国歌の取扱い
質問 学習指導要領では小中学生に国旗、国歌をどう指導しているのか。



市役所前に掲揚されている市旗、国旗、青少年健全育成旗

教育長 学習指導要領では小学校では社会、音楽、特別活動、中学校では社会（公民）、特別活動で取扱いが示されている。国際化に伴い、日本人の自覚を養い、国を愛する心を育てるとともに、国際社会で尊敬、信頼される日本人として成長するために、児童・生徒が国旗、国歌の意義を理解し、諸外国の国旗、国歌も同様に尊重する態度を身に付けられるよう指導している。
***GIS**：位置や空間に関する様々な情報を、コンピュータを用いて重ね合わせ、情報の分析・解析をおこなったり、情報を視覚的に表示させるシステム